

当社を取り巻く環境(課題)

新設住宅着工戸数の減少

国内人口の減少

少子高齢化

建築コスト上昇による  
需要抑制

金利先高観による  
マインド低下

施工職人の減少

政府の支援策による  
需要下支え

コストの増加

材料価格(原材料/副資材)

燃料費(電気代)

物流2024問題

為替リスク

人件費アップ

労働環境／自然災害／情報インシデント

労働災害、事故発生リスク

技術労働者担い手不足

激甚化する自然災害

情報セキュリティインシデント

当社グループの事業活動

基本理念「木を活かし、よりよい暮らしを」

豊かな住まいづくりのための基盤

E

S

G

ENVIRONMENT  
環境

SOCIAL  
社会

GOVERNANCE  
ガバナンス

永大産業のものづくり

ターゲットとする市場

住宅資材事業

木質ボード事業

建材事業

内装事業

住設事業

新築住宅市場

ストック市場

リノベーション

非住宅分野

高齢者向け施設  
園舎・店舗

海外市場

改善・改良

研究開発

製品企画

製造品質管理

販売

アフターサービス

新たな製品開発のための  
フィードバック

経営資源(2025年3月期連結)

財務基盤

株主資本 : 41,293百万円  
長期借入金 : 19,857百万円

生産体制

設備投資額 : 2,329百万円  
生産拠点 : 8カ所  
(事業所3、連結子会社4、その他1)

研究開発

研究開発費 : 587百万円

人的資源

従業員数 : 1,476人

中期経営計画

EIDAI Advance Plan 2026

安定した経営基盤の構築と収益力の強化を図り、  
すべてのステークホルダーから信頼される企業へ

2024年度～2026年度

5つの基本方針に則した事業活動

1 安全についての取り組み

●「安全と健康は全てに優先する」ことを全社に宣言

●安全教育の工夫、運用方法の定期的な見直し

●定期的な設備、作業環境のチェック

●外部コンサルタントによるリスクアセスメント

2 お取引先様及びエンドユーザー様にご満足いただける  
製品品質とサービスの提供

●ISO9001(QMS)に基づいた品質管理体制の  
徹底強化

●市場ニーズの把握と販売政策への展開

●二次元コードを利用した物流システムの活用

●サプライチェーン全体の付加価値向上、  
取引企業様との共存共栄

3 住宅資材事業でのシェアアップと新設住宅着工戸数に  
依存しない事業構造への転換

●「マーケットイン」を重視した製品開発

●ホームページやSNSの積極的活用

●非住宅分野の開拓と拡販の推進

●省施工、短納期製品の充実

4 木質ボード事業の強化、拡大及び住宅資材事業との  
相乗効果の発揮

●ENボード株式会社の月間15,000トンの  
安定的な生産体制

●高品質の構造用、フローリング基材用PBの  
ラインナップ

●PBの新たな用途開発

5 サステナブル経営の推進

●事業を通じた循環型社会の実現

●BCP、BCMの取り組み

●情報セキュリティの強化

●人財育成

●社内環境の整備

2026年でのGOAL

顧客満足度を高め、時代のニーズに沿った、  
より安全安心な住まいづくりに貢献

木質ボード事業での耐力面材販売量  
2024年度 販売実績 **9,365**t/月間

『セーフケアプラス』製品群の充実により、  
高齢者施設や園舎、店舗・事務所などで、  
より一層の安全性や快適性の向上を追求

セーフケア製品群販売累計金額  
2015～2024年度実績 **6,953**百万円

海外での生産・販売を進展させ、  
経営基盤を強化

海外市場での売上金額  
2024年度実績 **15**百万円

国産材の積極利用で、国内林業振興に寄与

フローリング基材への国産材使用比率  
2024年度実績 **26.6**%

通常の勤務だけでなく、  
Webでの会議や在宅勤務などを活用した  
ハイブリッドな働き方で、時間や場所に限定されない  
柔軟なワークスタイルの運用を継続

働き方改革の推進  
女性従業員比率  
2024年度実績 **19.6**%  
新卒採用の大卒女性比率  
2024年度実績 **40.0**%

省施工型製品の開発、普及や、  
社内での改善活動による省人化、生産性向上により、  
労働力不足に対応

完全正寸プレカット階段の販売比率  
2024年度実績 **35.4**%

二次元コードを用いた新たな管理システムと  
基幹倉庫を活用し、  
生産～物流のトレーサビリティを強化

2021年9月より新しい管理システムを導入  
ハンディ機と二次元コードを用いて作業の  
効率化と誤出荷を防止

気候変動への対応と資源循環の推進

再生可能エネルギーの推計発電量  
2015～2024年度実績 **38,681**千kWh  
未利用材、端材、解体材チップ使用量  
2024年度実績 **195,000**t

品質・安全

重大製品事故発生件数  
2024年度実績 **0**件

労働災害の撲滅

重大災害事故発生件数  
2024年度実績 **0**件

公正で誠実な企業活動

重大コンプライアンス違反  
2024年度実績 **0**件

ESGを切り口とした課題の解決

E 環境

〈資源循環〉

●環境配慮型製品を生産し、循環型社会の構築に貢献

●フローリング等へのPB利用率の拡大

〈温室効果ガス(GHG)排出量削減〉

●温室効果ガス(GHG)削減目標の設定と対策及び実績管理(SBT認定)

●再生可能エネルギーの創出

S 社会

〈BCP・BCM〉

●適切な調達先の選定と安定したサプライチェーンの構築

●生産体制の最適化、生産・物流システム機能強化

〈情報セキュリティ〉

●重大な情報セキュリティインシデントの未然防止

●社内におけるデジタル人材の育成強化

G ガバナンス

〈人財育成〉

●自動化や作業負担軽減等による生産性の改善とプロ意識と専門性を持った人財育成

●商品開発に関する知見を持った人材の積極的な採用、育成

〈社内環境整備〉

●無事故無災害

●コンプライアンスの徹底とガバナンスの強化

中間報告

経営指標	単位	2024年3月期実績	2025年3月期実績	2026年3月期計画	2027年3月期計画
売上高	百万円	71,665	71,202	74,500	76,500
営業利益	百万円	368	△293	800	1,000
経常利益	百万円	321	△398	600	800
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	3,219	△29	500	550
EBITDA(※1)	百万円	3,830	3,380	4,500	4,750
売上高経常利益率	%	0.4	—	0.8	1.0
ROE	%	7.6	—	1.4	1.5
PBR	倍	0.29	0.21	0.24	0.34

※1 EBITDA＝税金等調整前当期純利益に特別損益、支払利息および減価償却費を加算した値です。

13 EIDAI REPORT 2025-2026

EIDAI REPORT 2025-2026 14